

手話指文字・点字名刺ってご存知ですか？

今回は、以前に名刺交換をさせて頂いた際に、手話指文字・点字名刺を頂いて印象深かった『働く障害者団体協議会』会長の藤代洋行さんから話を聞きました。

藤代さんのお話では、障害者と言えども十分に働く能力の有る人たちが楽しくやりがいを持って働ける場所が少なく、現在、いろいろな制度がありますが「福祉の谷間」・「補償の谷間」は存在していて、困っている仲間がいます。

彼はそのような人たちに楽しく働く場所と少しでも工資を得られる環境を作りたいと思い、手話指文字・点字名刺を普及させる活動を始めたそうです。

軽度の障害者ではなく、中度以上の障害を持つ方たちに技術だけではなく、人との繋がりの大切さコミュニティ形成の重要さなどを教えながら、少しでも一人で自立する事を目的としています。



名刺には点字が打刻され、手話指文字が描かれております。この様な名刺を交換する事により相手との話題作りが出来るとともに簡単な手話での自己紹介にもなります。

点字名刺作製作業



ピンを入れる作業



点字を打刻する作業

前向きに挑戦する方を応援します。

1. 障害が重いからとあきらめずに、「今、これができる」と自分からおっしゃっていただける方。(やる気のある方)
2. 親・友人などから言われたからと言って、無理に来るのはやめてください。
3. 一度、他を見て頂いてから私どもにたどり着いて欲しいです。

～～あなたに寄り添う 最後にとどり着く駆け込み寺として～～

働く障害者団体協議会連絡先：<http://www.doushokyo.org/>

fujishiro@doushokyo.org



私たちからのお願いです!誤解や偏見をせず「普通に声をかけて」

健常者との会話で、「大変申し訳ありませんが、何でこのようになったんですか?・生まれつきですか?・事故ですか?」などと言われて、「過去を思い出したくない。・気分が悪くなる。」など、嫌な思いをしていることをお聞きします。

もし、健常者が、「何で、あなたは、『太っているのですか?・背が低いのですか?・髪の毛が薄いのですか?・

それは、遺伝ですか?ストレスですか?』」など、と言われたのと同じことです。

当たり前のことですが、自分が言われて嫌なことは相手にも言わないで下さい。普通に健常者同士が話すことをしたら良いのです。障害者だからと言って無理に気を使わなくて良いので、普通に話して下さい。まだまだたくさん事例はありますが、どうか温かい目で見守ってください。

3月30日に市川市の鑑賞植物園にて、バイオリニストの穴澤雄介さんのロビーコンサートを行いました。

市川市出身でもあり、バイオリニストの穴澤雄介さんです。

年間150本以上のライブ演奏の他、スタジオレコーディングや講演活動も行っている。

2007年5月に全国発売された「あの木に寄りかかって」を含め、これまでに14枚のCDをリリース。2009年4月よりNHKラジオ「ともに生きる」テーマ曲に、自作曲「ようこそ楽登(がくと)王国へ」が、2012年4月よりNHKラジオ



「聞いて聞かせて」テーマ曲に、自作曲「いちご畑と青い空」が採用されている。

また講演では、「過去は変えられる、マイナスをプラスに」といったテーマで、逆境を反転させるアイデアについて語り、学校や企業からの依頼が増えている。テレビ東京系列の「生きるを伝える」でも紹介された。